

# 平成 27 年度 研究計画書

## Research Plan FY2015

講座名・職名 Course Title・Job Title	日本語日本文化教育センター 准教授
氏名 Name	今井 忍
専門分野 Academic Field	言語学

### 平成 27 年度 研究計画 Research Plan FY2015

主たる研究テーマ Principal Research Subject	日本語の形態法に関する認知言語学的研究				
研究計画 Research Plan	<p>本年度は、昨年度に引き続き語種と意味の関係について考察していきたい。昨年度の研究の過程で英語の語種に関する先行研究が予想以上に多くあることが分かってきたため、それらを確認し日本語との異同を調査していきたい。また、研究課題として残った外来語動詞、一字漢語動詞の特性について、また、動詞「する」の歴史的変遷について、Levin and Rappaport Hovav (2006)や Talmy (2001)の一般化に対する反例について、それぞれ考察を深めていく予定である。</p> <p>昨年度のもうひとつの研究課題である Construction Grammar に基づくことわざ研究についてはあまり進捗がなかったため、本年度は先行研究の探索とともに議論を進めていくための理論的基盤の確立に努めたい。</p> <p>さらに、今井 (2012) で議論した日本語の数量形容詞についても、昨年度の研究会での発表を通じて新しい展開への見通しが得られたため、考察を進めていきたい。</p>				
共同研究可能な分野 Research Fields feasible for joint research	日本語学	日本語教育学			
キーワード Keywords	語種	借用語	ことわざ	数量形容詞	